

さとうゆみ

きらめく未来づくり通信

2015年6月24日 NO. 22

〒480-1157 長久手市桜作708

TEL & FAX / 0561-76-7811

携帯 / 090-5863-9971

E-mail / info@satoyumi.net

過去の通信を読んでくださる方は、お届けしますのご連絡ください。ブログ「さとうゆみのきらめく未来づくり日記」も毎日更新中！



4月の市議会議員選挙で新体制に

4月26日に長久手市議会議員選挙が行われました。議員定数を4年前の選挙の20人から18人に減らしました。定数18人に対して24人が立候補し、期数を重ねた現職議員が5人も落選するという新旧入れ替わりの選挙結果となりました。新人が6人、元職が1人入り、新たな体制となった議会の活動にご注目ください。

長久手市議会議員選挙上位18人の当選者

党派名	候補者氏名	年齢	確定票
民主党	現職 田崎あきひさ	35	1,770
無所属	元職 大島令子	62	1,197
無所属	現職 さとうゆみ	37	1,192
無所属	現職 岡崎つよし	61	1,049
民主党	新人 上田大	42	1,036
無所属	現職 吉田ひでき	56	983
無所属	現職 佐野尚人	49	953
無所属	現職 青山なおみち	57	936
無所属	現職 伊藤ゆうじ	58	868
無所属	新人 山田かずひこ	53	836.503
無所属	新人 山田けんたろう	40	826.496
公明党	現職 木村さゆり	52	814
無所属	現職 かとう和男	63	730
公明党	新人 ささせ順子	42	657
無所属	現職 じんの和子	65	593
日本共産党	新人 林みすず	57	547
無所属	現職 川合保生	65	541
無所属	新人 なかじま和代	42	534

(投票者総数18,844人 投票率46%)

議長・副議長選挙の結果 (敬称略)

議長：伊藤祐司(立候補者1人で無投票当選)

副議長：木村さゆり

(木村さゆり14票、吉田ひでき2票、白票2票)

「国民的合意のないままに安全保障体制の見直しを行わないよう求める意見書案」に賛成の議員(7人)
さとうゆみ、じんの和子、大島令子、上田大、田崎あきひさ、林みすず、吉田ひでき (敬称略)

安保法案の成立に異議なし!?

長久手市議会は国への意見書案を否決!

私は、他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とする安全保障関連法案(11法案)を今の国の進め方で成立させるべきではないと考え「国民的合意のないままに安全保障体制の見直しを行わないよう求める意見書案」を6月議会に出しました。残念ながら、法案に意義を唱えるこの意見書案は、賛成7人反対10人の賛成少数にて否決となり、長久手市議会から国(内閣総理大臣、防衛大臣、衆参両議長)へ意見書を提出することはできませんでした。

昨年、長久手市議会では「解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に反対する意見書案」を可決し国へ出しましたが、市議選で議員が入れ替わり今回の結果となりました。市民の想いが反映された市議会になっているのでしょうか。

法案には多くの問題点があると私は考えますが、安倍政権は会期を延長して今国会で成立させようとしています。歴代政府が踏襲してきた安全保障体制を180度変えるものであり、戦争ができる国へと変わろうとしています。私たちの未来が本当にこれでよいのか一緒に考えてください。

安全保障関連法案の問題点

- 衆議院憲法審査会に招かれた憲法学者3人が3人とも集団的自衛権の行使が許される法案を憲法違反と指摘していること。
- 11の法案のうち10の法案の改正を1本にまとめ、1国会のみの短時間の審議で通そうとしていること。
- 共同通信社が5月末に実施した世論調査では81%が説明不足と回答しており、各種世論調査でも法案に反対が賛成を上回っていること。
- 国民や国会議員に法案の中身が知らされていない4月末、安倍首相はアメリカ議会での夏までに安保法案を成立させると発言し、国民置き去りであったこと。
- 集団的自衛権を行使する事態「わが国の存立が脅かされ、国民の生命、自由、幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある」に該当するかは、時の政権の判断で不安定であること。
- 集団的自衛権により日本が攻撃されていなくても海外の戦いに行くことになり、自衛隊のリスクが増すこと。など

「国民的合意のないままに安全保障体制の見直しを行わないよう求める意見書案」に反対の議員(10人)
岡崎つよし、青山直道、加藤和男、山田かずひこ、佐野尚人、山田けんたろう、なかじま和代、川合保生、木村さゆり、ささせ順子 (敬称略)

小学生の放課後の居場所を拡充せよ

▼さとうゆみ6月議会一般質問から▼

Q「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の待機児童はそれぞれ何人か。

A 福祉部長 両事業ともに52人ずつである。

Q 平成31年度までに全小学校の校舎内に「放課後子ども教室」を開室する予定としているのなら、来年度東小だけでなく長小、北小、市が洞小にも開室すべきではないか。

A 福祉部長 平成31年度までに設置したい。

Q 待機児童が多く出ているが、小学生の居場所をこれからどうしていくか。

A 市長 市役所だけでなく65歳以上の方やNPOにも力を借りたい。

	長久手	上郷	下山	南	市が洞	西
定員	71	30	59	50	70	20
待機児童	8	2	9	14	19	0

児童クラブの定員と待機児童数(5月1日時点)

さとうゆみの考え

市は、平成25年度から平成27年度までの間に市の認可保育園を5園増やし、407人多く受け入れるようにしました。現在も「児童クラブ」と「放課後子ども教室」の待機児童がいますが、保育園の受け入れ態勢を強化したことで今後小学生になったときの放課後の居場所に困る事態がますます増えると予想されます。「児童クラブ」と「放課後子ども教室」は1年ごとの申し込みのため、前年に入れていても次の年に定員オーバーで入れなくなったという事例も出ています。場所の面積を増やし、地域の方々の力を借りるなどして、早急に小学生の居場所の拡充をする必要があると考えます。

	西	南
定員	60	60
待機児童	17	35

放課後子ども教室の定員と待機児童数(5月1日時点)

デマンド方式の車両の導入を

Q 高齢者が増えるこれからの時代に、市内を予約制で走行し、自宅から目的地まで行くことができるデマンド方式の車両の導入が必要ではないか。

A 行政経営部長 デマンドだけでなくNバスやタクシー、福祉有償運送サービスなども視野に入れて検討したい。

Q 福祉有償運送サービスはどのような人が使えるのか。

A 福祉部次長 要支援、要介護の高齢者や障がいのある人などである。

さとうゆみの考え

「Nバスでは病院や買い物などの目的地へ行けない」「運転免許証を返納したら出かけられなくなった」という高齢者の声が多く届きます。私は高齢者が増えるこれからの時代に、デマンド方式の車両の導入が必要だと考え、今回提案をしました。市から前向きな答弁を得られませんでした。私は導入に向けて引き続き研究をしていきます。市内で事業者が福祉有償運送サービスを開始し、要支援、要介護の高齢者や障がいのある人が利用できるということです。こちらの状況も確認していきます。

子ども消防団の設立を

Q 消防団員数が過去最低数であり、35才定年制が撤廃されて現在は35才以上の団員が約半数を占める状況である。団員を増やすための市の取り組みはどのようなか。

A 消防長 消防団応援事業所制度を導入、団員の年報酬額及び費用弁償額、退職報償金額を増額、各種機会を捉えてPRを実施した。

Q 小学校高学年の児童を対象とした子ども消防団の設立は、自分のまちの消防団を身近に感じ、まちづくりにも関心を持つことにつながると考えるがどうか。

A 消防長 地域の自主防災活動や消防団活動の体験など他市町の事例を参考にしながら検討したい。

さとうゆみの考え

長久手市では新たな消防団員が増えず、団員確保が難しい状況にあります。市が洞小学校区には多くの方が暮らしていますが、市が洞小学校区に住む消防団員は1人のみです。長久手市は子どもが多いまちであり、「子ども消防団」を設立し子どもたちに関心を持ってもらうことが、将来につながると考えます。また、災害時などに中学生は地域の力になると期待されていますが、現在中学生は地域活動にほとんど関わっていないので、市が積極的にきっかけをつくることも大切です。

さとうゆみ議会報告会&まちづくり座談会

2015年7月11日(土)19時~長久手交流プラザ

※この通信の発行は一部政務活動費を使用しています。(政務活動費は月1万円)